

2019年度 公民 2学期中間試験 試験問題

I 次の会話文をよく読み、【立地条件】を参考にして各問に答えなさい。

(社会的思考力・判断力)

先生：今日は、もし、自分がコンビニエンスストアの店を経営するとしたら、どんな場所を選ぶか皆で考えてください。候補地は、右の【立地条件】にあげたB～Eのうちから選んでください。なお、Aの場所にはコンビニエンスストアの本部が直営店を出すことになっています。店は1カ所にしか出すことはできません。それぞれの立地条件を参考にして考えてください。

太郎君：そうなんだ。コンビニエンスストアの本部が直営店を出す予定のAの場所は、(①)。だったら、ぼくは(②)と思うから、Bの場所がいいと思う

はな子さん：私は、(③)からCの場所で店を持ちたいな。

次郎君：ぼくは、Dの場所を選ぶ。だって(④)から。

たけ子さん：私は、Eの場所がいいと思う。Eは(⑤)だと思う。

【立地条件】

- A 駅前のビルの1階にある。駐車場は設けられない。
- B オフィス街の一角で、駅から徒歩5分の4階建てのオフィスビルの1階にある。駐車場は設けられない。
- C 住宅地の中に位置し、付近には幼稚園、小学校、総合病院がある。駐車場を設けられる。
- D 交通量の多い国道に面している。同じ国道沿いの付近には、工場や大型ショッピングセンター、ファミリーレストラン、ガソリンスタンドがある。広い駐車場を設けられる。
- E 駅から徒歩10分ほどのところにあり、付近には野球場やサッカー場、多目的ホールがある。駐車場を設けられる。

(1) 太郎君の会話の(①)に言葉を入れるとすれば、ふさわしくないのはどれですか。ア～エの記号で答えなさい。

- ア 駅前なので、鉄道やバスの利用客などの多くの人の通行が予想できて、たくさんのお客さんが訪れる可能性が高い
- イ 朝晩の通勤・通学時は多くのお客さんを見こめるし、昼間は客が少し減るけど、それでも多くの人が行き来する
- ウ 駐車場がないと鉄道に乗る人だけがたよりになるけど、自動車を使う人より鉄道を使う人の方が多いから、A～Eの中ではお客さんが一番多い店になるだろう
- エ 駅前ビルの店舗は賃借料が安いので経費がかからないうえに、お客さんが多いので最も利益が上がりそう

(2) 太郎君の会話の(②)に言葉を入れるとすれば、ふさわしくないのはどれですか。ア～エの記号で答えなさい。

- ア オフィスビルの1階なので、働いている人の利用が予想される
- イ 近くにも多くの仕事場あり付近のビルのサラリーマンの利用も考えられる
- ウ 朝から夕方まで、オフィスからの客を見こめる
- エ オフィス街なので毎日ずっと客が来ると思う

(3) はな子さんの会話の(③)に言葉を入れるとすれば、ふさわしくないのはどれですか。ア～エの記号で答えなさい。

- ア 駐車場スペースが確保されているので、車での利用が見こめる
- イ 幼稚園や小学校の子どもたちが買いに来ると思う
- ウ 近くの住民や学校・病院関係の客が来店することを期待できる
- エ 駅と大きな通りから離れているので、人通りが少ないけど、民家が多いので高齢者向けの食材が年中売れそう

(4) 次郎君の会話の(④)に言葉を入れるとすれば、ふさわしくないのはどれですか。ア～エの記号で答えなさい。

- ア 近くの工場で働く人達がお客さんになってくれると思う
- イ ショッピングセンターやファミリーレストランなどの客を集める力のある商業施設の近くにはお客さんが集まりやすいと思う
- ウ 他の地点より夜間の客は少なくなるかも知れないけど、昼間の売れ上げが多いから採算が取れると思う
- エ 国道沿いだと駐車場があれば、運転手などの人達が立ち寄ってくれると思う

(5) たけ子さんの会話の(⑤)に言葉を入れるとすれば、ふさわしくないのはどれですか。ア～エの記号で答えなさい。

- ア 野球場やサッカー場や多目的ホールを利用する客を取りこめる可能性がある
- イ 平日やオフシーズンには来客が減る可能性がある
- ウ 駐車場があるので、昼夜をとわずお客さんが来る可能性がある
- エ 野球場やサッカー場や多目的ホールの人気があるとたくさんの人が集まるのでお客さんが多い

Ⅱ 次の文中のA～Lにあてはまる適語を下の語群から選び、ア～シの記号で答え、文を完成させなさい。(知識・理解)

私たちは、日常生活でさまざまな商品を購入する。食べ物や衣類など、形のある商品は(A)とよばれる。それに対して、電車やバスに乗ったり、美容室で髪を切ったりするなど、形の無い商品を(B)という。私たちはさまざまな(A)や(B)を消費することで、生活を便利で豊かなものになっている。

私たちが消費する(A)や(B)は、農家や工場、商店などが(C)している。(C)と(D)は、私たちが(A)や(B)に対してお金を支払い、商店などがそれを受け取るというように、お金のやり取りでつながっている。このように、(E)とは、(C)と(D)という活動を通じて暮らしを豊かにする仕組みである。

家族や個人など、消費生活を営む単位を(F)という。(F)は収入を得て、それを様々な目的に支出する。収入は(G)ともいい、様々な(G)がある。会社員や公務員の収入を(H)、農家や個人商店の場合の収入を(I)、土地などの財産から得る主な収入を(J)という。支出のうち、衣食や娯楽、教育、医療など、生活に必要な財やサービスに対する支出を、(K)という。

一般に、収入から消費支出と、税金などを差し引いた残りを(L)という。(L)は銀行預金や生命保険料の支払いなどにあてられ、将来の支出への備えになる。限られた収入を有効に活用するには、(D)と(L)への配分を合理的に行う必要がある。

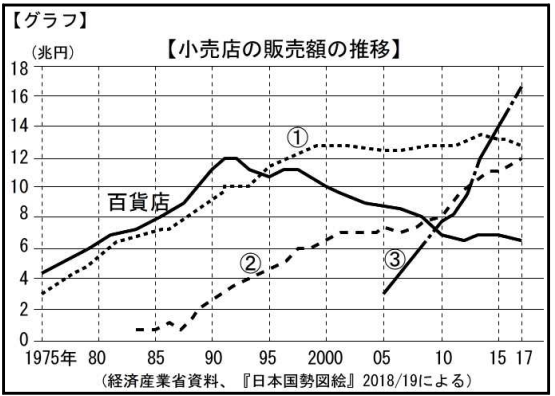
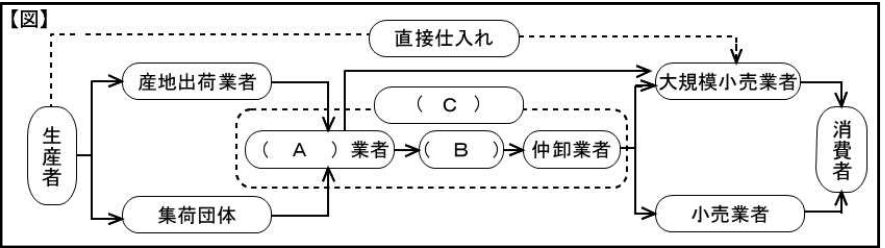
語群						
ア 生産	イ 消費	ウ 事業所得	エ サービス	オ 財	カ 家計	キ 所得
ク 貯蓄	ケ 消費支出	コ 給与所得	サ 財産所得	シ 経済		

Ⅲ 次の各文のA～Gにあてはまる適語を入れて、各文を完成させなさい。(知識・理解)

- (1) 買い物では、買い主と売り主の間で商品の売買についての合意があれば(A)が成立する。(A)が成立すると、買い主にはお金を支払う(B)が発生する。
- (2) 個人の意思で自由に契約できる「(C)の原則」があるが、契約すると(B)が発生するので、慎重な対応が必要である。
- (3) 消費者が売り手に対して不利な立場にあることが原因で、不利益をこうむることを(D)という。
- (4) (E)は、1962年にアメリカのケネディ大統領が「消費者の四つの権利」として明確に示したことで認められた。
- (5) 訪問販売などで商品を購入した場合、一定期間内であれば、無条件で契約を取り消すことができる制度を(F)という。
- (6) (G)という法律によって、製品の欠陥によって消費者が被害を受けた場合、企業に過失がなくても、企業は被害を救済しなければならないと義務づけられている。

Ⅳ 右の図とグラフをよく見て、次の各問に答えなさい。(資料活用技能、思考・判断)

- (1) 図のような消費者に届くまでの経路をたどるのは、どのような商品か。商品の種類を漢字4文字で答えなさい。
- (2) 図のように商品が消費者に届くまでの経路を何と言うか。漢字2文字で答えなさい。
- (3) 図のAにあてはまる語句を漢字2文字で答えなさい。
- (4) 図のBにあてはまる語句をひらがなで答えなさい。
- (5) 図のCにあてはまる語句を漢字4文字で答えなさい。
- (6) 今日では、図のように大規模小売業者は生産者から直接仕入れをするようになっています。このことについて、次のうちから、誤りを1つ選びなさい。



- ア 小売業者が生産者から直接仕入れをするような動きを流通の合理化という。
- イ 流通の合理化によって、小売業よりも卸売業の方が利益が多くなる。
- ウ 資金力のない個人経営の小売業者は、価格競争に勝てなくなる。
- エ 資金力のある大規模小売業者は、流通費用を節約することができる。
- オ 資金力のある大規模小売業者は、安い価格で商品を販売できるようになる。
- (7) グラフは小売店の販売額の推移を示しています。グラフの①・②・③にあてはまる小売店を次の語群から選びなさい。
- 語群【 スーパーマーケット オンライン・ショップ コンビニエンスストア チェーン店 】
- (8) グラフが表す、小売店の販売額の推移の傾向についての説明で、誤っている文を1つ選びなさい。
- ア このグラフに表されている小売店は大規模小売業者であり、個人経営の小規模小売店の販売額の推移は読み取れない。
- イ ①の小売店は2000年くらいまでは売り上げが伸びていたが、それ以降は横ばいになっている。
- ウ ②の小売店は1980年代の半ばに出てきて、商品の価格を高く設定しているのに売り上げを伸ばしている。消費者の身近に多くの店舗が開設されていることと、POSシステムで販売方法の合理化を進めたからだと思われる。
- エ 百貨店の販売額が落ちてきているのは、他の小売業者に客を奪われていると考えても良さそうである。
- オ ③は2005年ごろに登場してきて、急速に売り上げを伸ばしている。電話やカタログを使った販売方法が特徴である。

V クレジットカードは便利なものですが、利用する際には注意すべきこともあります。クレジットカードを使って、物を買うときに注意すべきことはどのようなことですか。簡単に説明しなさい。(知識・理解)

VI 次の課題文をよく読んで、あなたの考えることを作文にしなさい。(主体的に学ぶ態度)

あなたは、27歳になっていて、阪神間で一人暮らしをしていると仮定します。ある企業に勤めています。生活費はすべて自分が働いて稼いだお金でやりくりしています。この夏も猛暑が続いています。

そんな年の7月の末に、親友から9月の秋分の日に結婚式を挙げるので、その祝いの宴にぜひ出席して欲しいと招待状が届きました。親友とは中学生の時から付き合いです。これからも一生付き合っていきたいと思います。

周囲の人に聞くと、宴の会場の食事代などの費用はとても高く、一人2万円はするそうです。お祝い金も用意する必要があります。普段、ラフな服装で暮らしているし、仕事に着ている服装で出席することも出来ませんので、結婚式の祝いの宴に着ていくような服也没有ありません。

職場では10日間の夏休みもあります。職場の人の中には、夏休みに海外旅行に行くと言う人もいます。タレントのライブに出かけたいと言っている人もいます。旅行代などは教養娯楽費です。本やゲーム・ソフトを買ったり、映画を見たりすることなども教養娯楽費です。

また、あなたには、これまでにローンで買ったオーディオなどの支払いで、毎月2万円の返済金(借金を返すお金のこと)があります。生命保険にも加入していて、毎月1万円を銀行口座から引き落としとして支払っています。それに、預貯金を毎月5万円しています。同じ職場の友達なんかは、老人になった年金暮らしの両親に毎月2万円を仕送りしているそうです。

あなたの収入は、27歳の人の全国平均の月額33万円だとします。こんな時、あなたなら、8月と9月のお金を使う計画をどのようにたてますか(2か月の平均で考えます)。あなたの考える支出の計画を【表1】に金額を入れて、お金の使い道の理由を説明してください。

なお、一人暮らしの27歳の人の平均的な家計は【表2】のようになっています。金額は千円単位で考えてください。(例 住居費 60,000円など)

住居費は、全国平均では34,768円ですが、阪神間ではワンルームマンションでも1か月5万円以上はします(トイレ・風呂・エアコンなどが装備されている)。税金と社会保険料などは54,000円として考えてください。「家具・家事用品費」と「保健医療費」をあわせて7,000円出費するとしておきます。結婚式の「お祝い金」は「その他の消費支出」にあてはまります。

【表1】

項 目			金 額
収入			330,000円
実 支 出	消 費 支 出	食料	円
		住居	円
		光熱・水道	円
		家具・家事用品	3,000円
		被服 ^{ひふく} および履 ^は き物 ^{もの}	円
		保健医療	4,000円
		交通・通信	円
		教養 ^{ごらく} 娯楽	円
		その他の消費支出	円
	税金、社会保険料など		54,000円
その他(預貯金、借入金返済など)			円

【表2 27歳の単身世帯1か月間の家計】

項 目			金 額
収入			330,385円
実 支 出	消 費 支 出	食料	41,933円
		住居	34,768円
		光熱・水道	7,697円
		家具・家事用品	3,267円
		被 ^{ひふく} 服および履 ^は き物 ^{もの}	7,842円
		保健医療	3,828円
		交通・通信	26,989円
		教 ^{ごらく} 養娯楽	20,420円
		その他の消費支出	18,160円
	税金、社会保険料など		53,781円
その他(預貯金、借入金返済など)			111,700円

※資料出所：政府統計「家計調査年報」平成30年。

勤労者単身世帯の平均を参考にした。

2019年度 公民 2学期中間試験 解答用紙

I	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	各3点			
II	A	B	C	D	E	F	G	H	
	I	J	K	L	各3点				
III	A		B		C		D		
	E		F		G		各2点		
IV	(1)		(2)	(3)	(4)	(5)		(6)	各
	(7)①		②		③		(8)		2点
V									
VI	【表Ⅰ】								
			項 目		金 額				
			収入		330,000円				
	実 支 出	費 支 出	食料		円				
			消 住居		円				
			光熱・水道		円				
			家具・家事用品		3,000円				
			被 ^{ひふく} 服および履 ^は き物 ^{もの}		円				
			保健医療		4,000円				
			交通・通信		円				
			教養 ^{ごらく} 娯楽		円				
			その他の消費支出		円				
		税金、社会保険料など		54,000円					
		その他(預貯金、借入金返済など)		円					

第 学年 組 番 氏名

I 思考力・判断力	II 知識・理解	III 知識・理解	IV 資料活用技能	V 知識・理解	VI 主体的に学ぶ態度	合 計
/15	/36	/14	/20	/5	/10	/100